

社会実験の内容の概要及び実施方法（案）

1. 全体目標

大山において、受益者負担による良好な自然環境の保護と持続可能な利用を推進する目的で、入山料（協力金）徴収等の社会実験を行い、現実的に実施可能な入山料の仕組みについて検討するとともに、入山料制の導入によって起こり得る影響について分析する。

2. 調査項目

（1）金額の設定

- ・入山料の用途の設定及びトイレの維持管理費等の情報提供の有無による支払意思額への影響

（2）徴収方法・場所

- ・徴収場所の候補（登山口、山頂避難小屋、駐車場）
- ・電子的な支払い方法の導入の可能性と、その場合の協力率・支払意思額
- ・入山料の徴収に関する効果的な周知・広報手段

（3）入山料制の導入による影響

- ・登山者数や観光客数の変化の見込み

3. 実施方法

（1）山頂トイレ

①日程・時間：8月23日（金）～9月1日（日）の9:00～15:00頃まで（予定）

②実施方法：

- ・山頂の仮設トイレ利用者に対して、協力金への協力を呼びかけ、任意の額の現金を封筒に入れてボックスに投函してもらい回収する形式をとる。
- ・アンケート（趣旨への賛否、徴収方法、望ましい金額、回答者の属性等）への回答も求める。

③回収体制：調査員1名を配置するとともに、仮設避難小屋の管理運営者の協力を得て行う。お釣りの支払いにも対応する。

④目標数：500人

（2）駐車場 ※アンケートのみ

①日程・時間：9月14～16日又は9月21～23日の8:30～17:00頃まで（予定）

②実施方法：博労座の第1・第2駐車場にて、アンケート（趣旨への賛否、支払意思額、訪問目的、訪問の参考にしたメディア、回答者の属性等）調査を実施する。後日の郵送による回収も受け付ける。協力者には謝礼品としてハガキを配布する。

③実施体制：調査員3名程度を配置する。

④目標数：配布1,000人、回答回収500人

(3) 登山口

①日程・時間：10月12日～14日、19～20日、26～27日及び11月2日の7:00～17:00頃まで（予定）

②実施方法：

- ・夏山登山口（阿弥陀堂横）において、混雑を避けるため主に下山者に対して、協力金への協力を呼びかけ、任意の額の現金を封筒に入れてボックスに投函してもらい回収する形式をとる。可能な場合、QRコードやECサイトを用いた電子的な支払いも併用する。
- ・アンケート（趣旨への賛否、徴収方法、徴収場所、協力金の使途、望ましい金額、回答者の属性等）への回答を求める。電子的な支払いを併用する場合は、ウェブ上でのアンケートも用意する。
- ・4パターンの実施方法（入山料の使途を登山者が選択/集める側が決定の2通りと、トイレの維持管理費等の情報を提示する場合/しない場合の2通りを組合せた4通り）を設け、半日又は1日ごと等の単位で設定を変える。

③回収体制：調査員3名程度を配置する。

④目標数：2000人

(4) その他

ウェブサイトへの掲載、ポスター、チラシ、可能な場合は山岳メディアへの掲載やYAMAPによるプッシュホン通知等を用いて事前に社会実験実施に関する広報を行う。